

「献体遺体を用いた全身の血管網の検討」 に対するご協力をお願い

研究責任者 貴志 和生
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 形成外科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

慶應義塾大学医学部篤志会会員で、死後、ご献体いただいた方々の解剖献体

2 研究課題名

承認番号 20231173

研究課題名 献体遺体を用いた全身の血管網の検討

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部

研究責任者

(形成外科 教授) 貴志 和生

4 本研究の目的、方法

形成外科では組織が欠損した際に“皮弁”という手技を用いて修復することを行っています。皮弁は欠損部により大きさも様々ですが、この皮弁が生着するうえで、血流は欠かせません。近年において、手術や外傷などの後天的な理由により、乳房や臀部といった人体に存在する溝・凹凸の正常な構造が失われることがあり、我々形成外科医はもとの自然な形態を再現することを目的とした手術・治療を行っております。しかし、曖昧な解剖の認識に基づいた術式は、結果として不自然な形態を生むこととなり、患者様の満足を得ることはできません。本研究では献体遺体を用いた脂肪・筋膜に関する肉眼解剖を行うことで、正確な解剖学的構造についての理解を深めることを目的とします。

5 協力をお願いする内容

慶應義塾大学医学部解剖学実習室および準備室において、慶應義塾大学医学部篤志会入会者からの献体を用いて、血管の染色を行います。そのうえで観察対象となる部位をご献体から切り出した上で、顕微鏡下に皮膚・皮下脂肪・筋肉に分布する血管を観察します。また、試料を適切な大きさに分割し、X線写真を撮影することで画像解析も行います。また透明化も行います。

あわせて献体の年齢と性別、死亡診断書および死体検案書から死因情報を利用します。その他の情報に関しては利用せず、本情報のみから個人の特定は困難と考えます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028年03月31日

7 外部への試料・情報の提供

予定しておりません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所: 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話: 03-5363-3814 (医局直通、平日 10 時～16 時対応)

担当者: 慶應義塾大学医学部 形成外科学教室

講師 坂本 好昭

以上